

『帝国主義』論に学ぶ

第11回

東京ブロック

フランス語版およびドイツ語版への序言

されたと述べ、第一次世界大戦の性格をすでに帝国主義戦争として捉えています。

司会…今回は、総まとめとしてロシア革命後の1920年7月に追記した「フランス語版およびドイツ語版への序言」(15～23頁)を学習します。レーニンの『帝国主義』論を学び、日本帝国主義の歴史的意義を学びます。レポーターは、東京北部県協事務局長の宮田光市さんです。

よろしく願います。

帝国主義戦争の不可避性

宮田…レーニンが強調しているポイントからレポートします。

レーニンは、1873年、世界大不況以後の資本主義諸国の変化とそれに伴う植民地支配を分析し、世界戦争の不可避性を明らかにしました。

『帝国主義』論の任務は、レーニン自らが述べたとおり、20世紀初頭すなわち第一次世界大戦前夜における世界資本主義の全体像を明らかにするものでした。

「1914年～1918年の戦争が、どちらか側からみても帝国主義戦争(すなわち、侵略的、略奪的、強盗的な戦争)であり、世界の分けどりのための、植民地や金融資本の『勢力範囲』等々の分割とための戦争であったということである」(16頁)ことが証明

レーニンはこの段階において「唯一の正しいプロレタリア的なスローガンは、現在の帝国主義戦争の内乱への転化」でなければならぬとし、1912年のバーゼル宣言の路線つまり「国際社会主義運動」をさらに強化しようとしていました。

しかし、現実には第一次世界大戦が勃発すると、カウツキーが指導するドイツ社民党は、軍事予算を支持し、イギリス労働党は戦時連合内閣へ入閣しました。第二インターナショナルの主流は、プロレタリア国際主義を放棄し、祖国防衛の社会排外主義へと傾斜し組織は崩壊しました。レーニンが執筆し

◆みんなの学習講座



ロシア革命の時に蜂起した労働者たち

た動機は、何よりもこの社会排外主義者との理論闘争にあったのです。ドイツ社会民主党中央派のカウツキーの超帝国主義論がその中心課題をなしています。

レーニンは、この宣言に対する各国社会主義政党指導者の裏切りに対し

「この宣言は、第二インターナショナルの英雄たちの不名誉極まる完全な破産、その完全な変節を暴露する記念碑として残っている」（19頁）と弾劾し、反階級的裏切りを明らかにしました。本書は、レーニンの世界的認識および革命思想とまったく不可分なものとして創られたものなのです。

戦争に反対する使命がある

司会…宮田さん、レポートありがとうございます。ございました。前号でも触れましたが、ロシアのウクライナ侵攻は、ロシア帝国主義とアメリカを盟主とする欧州帝国主義との帝国主義戦争と捉えています。レーニンは「帝国主義戦争を内乱へ転化せよ」といつていますがどう考えますか？

槍崎…自民・公明両党は、反撃能力の保有について合意し、日本国政府は、昨年12月16日に臨時閣議で『安保関



安全保障関連3文書改定に反対するデモ参加者＝
2022. 12. 16午前、東京・永田町

連3文書』（国家安全保障戦略・防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画）を決定しました。国会審議をせずに、戦争できる国づくりから「戦争する国づくり」へ大きな転換だと思っています。

岸田首相は23年度から5年間の防衛費総額を43兆円とするよう指示しました。まさに憲法前文や9条をかなぐり捨てた大軍拡に暴走し始めてると

しか思えません。

高原…でも世論は、ロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイル発射実験などから、「抑止力」を高めなければ、という意見が多くなってきた。」「非武装中立」なんて現実的ではないと言われる。

高井…「戦争を内乱に転化せよ」というのは、ロシア人民、ウクライナ人民が戦争反対の声をあげ行動することだと思いが、なかなかそうはなっていない。戦前の日本もそうだったけど「祖国防衛」キャンペーンに太刀打ちできていない。

宮田…戦争は資本が利益を拡大するためにやるものです。「労働者が戦場へかり出されお互い殺し合い、他国への侵略以外の何ものでもない」だから労働者階級は、他国の戦争にも自国の戦争にも反対する使命があると思う。「武力で平和は守れない」と声をあげるしかない。

日と見主義との闘争は不可分

司会…次にレーニンのは、第二のポイントは、第八章『寄生性と資本主義の腐朽化』の項で、日と見主義、修正主義の発生について言及しています。引き続きレポートをお願いします。

宮田…『全労働運動の国際的分裂は、今やすでに完全に明るみに出された（第二インターナショナルと第三インターナショナル）。また二つの潮流のあいだの武力闘争と内戦の事実も明るみに出された。・・・この世界的現象の経済的基礎はどこにあるか？』

(21頁)

「それはまさに、資本主義の最高の歴史的段階すなわち帝国主義に特有な、寄生性と資本主義の腐朽化のうちにある」(22頁)といっています。どういうことでしょうか。

つまり、独占がもたらす巨額の超過利潤のうちから労働者の指導者たちと

労働貴族の上層部とを買収できるのは明白である。そして事実、資本家どもは買収しているといっています。

最後に「この現象の経済的根源を理解することなしには、またその政治的および社会的意義を評価することなしには、共産主義運動およびきたるべき社会革命の実践的諸任務の解決という面で、一歩も前進することはできない」(23頁)と警鐘を鳴らしています。

社会主義の必然性 間違ではない

マルクスが指摘したように資本主義の発展は、一方における貧困の蓄積、労働者階級の抵抗の増大、窮乏化法則の貫徹、作用と反作用による階級闘争の激化と社会主義の必然性があることは間違いないではありません。

しかし、革命はマルクスが考えたようには進みませんでした。マルクスが想定した先進資本主義国での労働者階

◆みんなの学習講座

級による革命ではなく、資本主義の「最も弱い環」である遅れた資本主義国ロシアにおいて革命は切り拓かれました。

その原因は、マルクスが指摘し、レーニンがそれを引用して日和見主義との闘いの重要性を強調しているとおり、イギリス労働者階級の労働貴族化による右傾化・体制内化があります。そしてこの傾向は、その後勃興してきたドイツ、アメリカ、日本などすべての先進資本主義国の労働運動、社会主義運動内で常態化してしまい、社会主義政党がこれを打ち破ることに成功していないからではないでしょうか。

日本資本主義の発生・発展

日本は、明治維新（1868年）を経て資本主義を歩み始めます。すでに欧米諸国は資本主義を確立し、漸次帝国主義に移行しつつあり、海外に市場

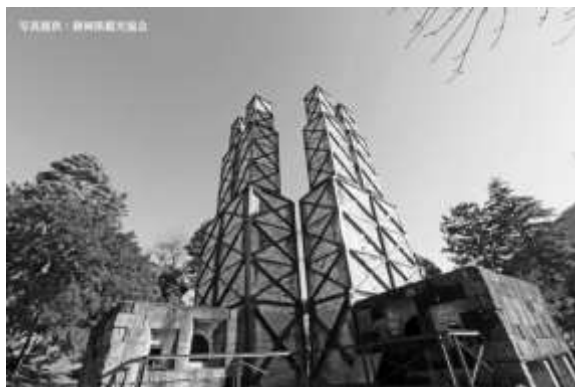
を求めている時代でした。遅れて出発した日本資本主義は植民地化の難を逃れるために、大急ぎで資本蓄積を進め欧米列強の仲間入りを果たさなければなりませんでした。

明治政府は、天皇制の確立と富国強兵・殖産興業を国是としひた走り続け

ました。工業生産の中心となったのは紡績、製糸、綿布業等の軽工業で、多くの労働者を必要とする重工業の発達は貧弱なものでした。労働者とは封建時代の農民が土地を追われてなるものですが、日本産業の未発達から労働者になることができず、高額小作料を地



群馬県 富岡製糸場



静岡県 浜岡原子力炉

主に払って、農村にへばりつく寄生地主制が生まれました。この寄生地主制はその後一貫して、日本の労働者の自立、階級化を妨げたのです。

明治初期の主力産業である製糸業の女工の賃金は安く、労働者一般の賃金も低くおさえられました。このことが生産物の国内需要を引き下げ、外需に依存するより道はなく、軍事力をもつての海外侵略に走らせることになったのです。日本資本主義は独占資本主義の成立以前から朝鮮、台湾を皮切りに近隣アジアの侵略に踏みだします。

このようないびつな構造をもちながらも、日本資本主義はその運動を貫き1907年から1915年までの長期不況で独占を形成し、帝国主義段階に突入してゆきます。狭隘な国内市場と強烈な対外志向という日本帝国主義の特質は、第二次世界大戦後も引き継がれています。

戦後、日本帝国主義は1970年代

から急激に資本輸出を増やし、その超過利潤のおこぼれにあずかる労働貴族化、労組幹部の買収が進み労働運動は右傾化を強めてきました。1980年代は「ジャパン・アズ・ナンバーワン」といわれる絶頂期でしたが、バブル経済がはじけ、グローバリズムが進展し、大競争時代に突入し、90年代以降日本経済は停滞から衰退の過程をたどることになります。

レーニンは帝国主義の歴史的地位を繰り返し強調しています。それは「帝国主義は死滅しつつある資本主義である」ということです。

坂本哲郎前労大校長の提起

再建労大の学長に就任した（前）坂本哲郎氏が執筆した記念出版『社会を変える、自分を変える』で以下のように要約されています。

「資本主義の発展はとどまるところが

ない。自動崩壊はしないのである。すでに死滅しつつあり、社会主義に移行する以外に腐朽化、寄生性をとめることはできないし、社会主義への物的土台はできているにもかかわらず、労働者階級の結集した階級闘争以外に、資本主義は社会主義に道をゆずらないのである。しかし帝国主義は、その独占利潤の分け前により、労働者の一部を己の側にひきつける。

まさに日本の現状そのままではないか。ただちがうのは日本では労働者階級の一部ではなく、大多数がブルジョアイデオロギーに汚染され、資本の側にひきこまれていることである。しかも、独占利潤のおこぼれも、いまやすべて剥奪され、大量首切りの嵐の中で生活を根底から破壊されているにもかかわらずである。

『連合』をみるがよい。この組合は、今や大量首切り、合理化に直撃され、組合員は年々減少しているにもかかわらず

らず、その指導部は、口では組合員のためと称しながら、巨大多国籍資本の立場にたち、この凄まじい攻撃ともたたかおうともしない。しかるに、この社会排外主義指導部に対して、彼らを孤立させ、追放するという内部からのたたかいがほとんどない。ここがレーニン時代はもちろん、現在の世界の労働者闘争ともはつきり違う点である」と提起されています。

「帝国主義との闘争は、それが日和見主義にたいする闘争と不可分に結びついていないならば、一つの空疎で虚偽な空文句にすぎない」（203頁）。

だからこそレーニンは、この『帝国主義』論で多くの部分をカウツキー批判とそれとの闘いにあてたのです。

連合労働運動を食い破ろう

司会…私たちの階級闘争の命題もだいぶ明らかになってきましたね。皆さん

から質問はありませんか。

槍崎…寄生地主制について、もう少し詳しく説明してください。

宮田…明治政府により秩禄処分、地租改正により封建体制は一掃されましたが、残ったのは寄生地主制でした。地主が所有地の大部分を多くの小作農民に貸し付け、高額な小作料を徴収する農業の形態です。第一次世界大戦後の農地改革まで、日本農業の基本的な生産関係をなして、農村における商品生産の発展を阻害し、地主・小作人の間の半封建的身分関係を残し、日本資本主義の発達を遅らせました。

高井…「日本資本主義のいびつな構造」とありますがどうゆうことですか。

宮田…マルクスが『資本論』で展開している資本主義の発達は、重化学工業を主力とする大工場生産です。それに比べ日本の主力産業は製糸産業でした。生糸、綿布を輸出し工業用品を輸入することによって成立していたのです。

重化学工業は貧弱なものでした。1910年、職工数5人以上の工場は、軽工業が80%を占め産業構造はいびつなものでした。

高原…『連合』労働運動の弱点はどういうところですか？

宮田…生産性基準原理に縛られています。つまり賃上げは生産性の範囲内に抑え、労使一体で企業を守り、雇用を確保するという内容です。ですから労使交渉においてもストライキ権を行使しません。

連合幹部の言う「労働者のために」とは詭弁であると思います。

司会…ありがとうございます。

次回は、全12回の締めくくりです。高井豊治東京西部県協専従から、現代の日本帝国主義「新自由主義の局面」の特徴点と私たちの課題を提起いただき、皆さんで討論します。乞うご期待ください。